

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

平成30年9月27日(木)

10月号 児童数 890名

TEL:048-461-0410



【学校教育目標】「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」

思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子

【めざす学校像】「学ぶ喜びと感動のある学校」

【朝霞六小の合い言葉】～花あり 歌あり 笑顔あり～



「きっとできる」という実感

校長 木村 直美

「第52回運動会」には、ご来賓、ご家族、地域の皆様に早朝よりご来校いただき感謝申し上げます。また、PTA 役員、学校応援団の方々には、準備から当日の運営、片付けまでお世話になり、お礼を申し上げます。温かいご声援をいただき、実りの多い、感動的な運動会となりました。前日準備の時は、雨が降っていました。「きっと明日できる」「明日のためにできることをみんなの力で」という気持ちで、6年生の児童は、係の打ち合わせや準備をしました。教職員も一同、子供たちが最も輝ける状況で挙行したいという思いでした。

当日、天候にも後押しされ、競技の熱い盛り上がりもさることながら、団体演技はまさに圧巻でした。1年生の「エビカニクス」は入場から動作が可愛らしく上手に踊ることができました。2年生の「トライ&トライ」は、リズムに合わせて動き、隊形移動も堂々とできました。3年生の「行け！ 幸せに向かって」は、元気よく毅然と舞い、そろった手具の音を心地よく響かせました。4年生の「れっつ・だんす・とうげざー」は、カラフルなコスチュームと力強い演技、キレのある動きが見事で、そのひたむきさに心うたれました。5年生の「六小 ソーラン」は、元気な声と力強い動きで上級学年のたくましさを感じさせました。手の先、足の先までを意識した演技でした。6年生の組体操は、タイトルの「はじまり～次のページをめくるのは僕の手だ～」そのもので、現状に満足せず、今からまた新たに始まる、という心意気を感じました。仲間を信じて、体を預けたり、飛び込んだりする。信頼に答えて、仲間を支え、受け止める。痛いとか重いとかという自分の思いは我慢してチームを優先する。そんな強い意志が伝わってきました。1年生から6年生まで全てに共通しているのは、隊形移動の「速さ」です。小気味よい見事な「走り」でした。

初めは、「自分にできるのだろうか」「できるはずない」と思ったとしても、みんなで励ましあい認め合いながら、いろいろなことができいく「やればできる」「きっとできる」「頑張ったからできた」という気持ちを「自己効力感」と言います。子どもたちの頑張りは「宝物」です。そして、六小の誇りです。力と心を合わせたからこそ味わう感動、信頼を実感した瞬間の一つ一つを大切に、心豊かに成長して行ってほしいと願っています。

